

令和 7 年 6 月 30 日
国土交通省関東地方整備局
道路部

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)の実施について

- 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験（社会実験）を、公募により平成11年度から実施しています。
- 令和 7 年度においても実験を実施する地域を公募し、関東地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請 団体	実験の名称	実験の概要	タイプ
埼玉県 朝霞市	JR 武蔵野線沿い道路の 時間的役割分担による 活用可能性に係る実証 実験	当該エリアの未来ビジョンにおいて、道路空間の利活用が位置付けられている鉄道沿いの道路について、時間帯ごとに活用方法を変更し、駅周辺で課題となっている荷捌き・駐輪スペースを確保することが可能かどうか、また賑わい創出の可能性について検証するもの。	現地実証実験 タイプ（複数年度）

- 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>
- 令和 7 年度に提案のあった「道路に関する新たな取り組みに活用できる民間企業等が有するアイデア」については、以下のホームページをご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/kohyo/r05.html

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

<問い合わせ先> 関東地方整備局 道路部

電話：048-601-3151（代表） F A X：048-600-1385

道路計画第二課 課長 川邊（かわべ）（内線：4251）

道路計画第二課 課長補佐 三浦（みうら）（内線：4252）